

「かながわプラごみゼロ宣言」 に基づく取組

神奈川県環境農政局
環境部資源循環推進課



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

かながわプラごみゼロ宣言



平成30年9月4日に発表
～クジラからのメッセージ～

【背景】

- ・ プラスチックごみや、それが小さく砕けたマイクロプラスチックによる海洋汚染が世界規模で問題
- ・ 同年夏、鎌倉市由比ガ浜で打上げられたシロナガスクジラの赤ちゃんの胃からプラごみを発見

【目標】

2030年までの早期にリサイクルされない、廃棄されるプラごみゼロを目指す

SDGsと「かながわプラごみゼロ宣言」

本県が「SDGs未来都市」として、SDGs推進に積極的に取り組む中、その具体的プロジェクトとして、「プラごみゼロ宣言」をスタート





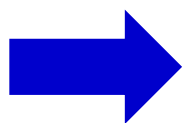
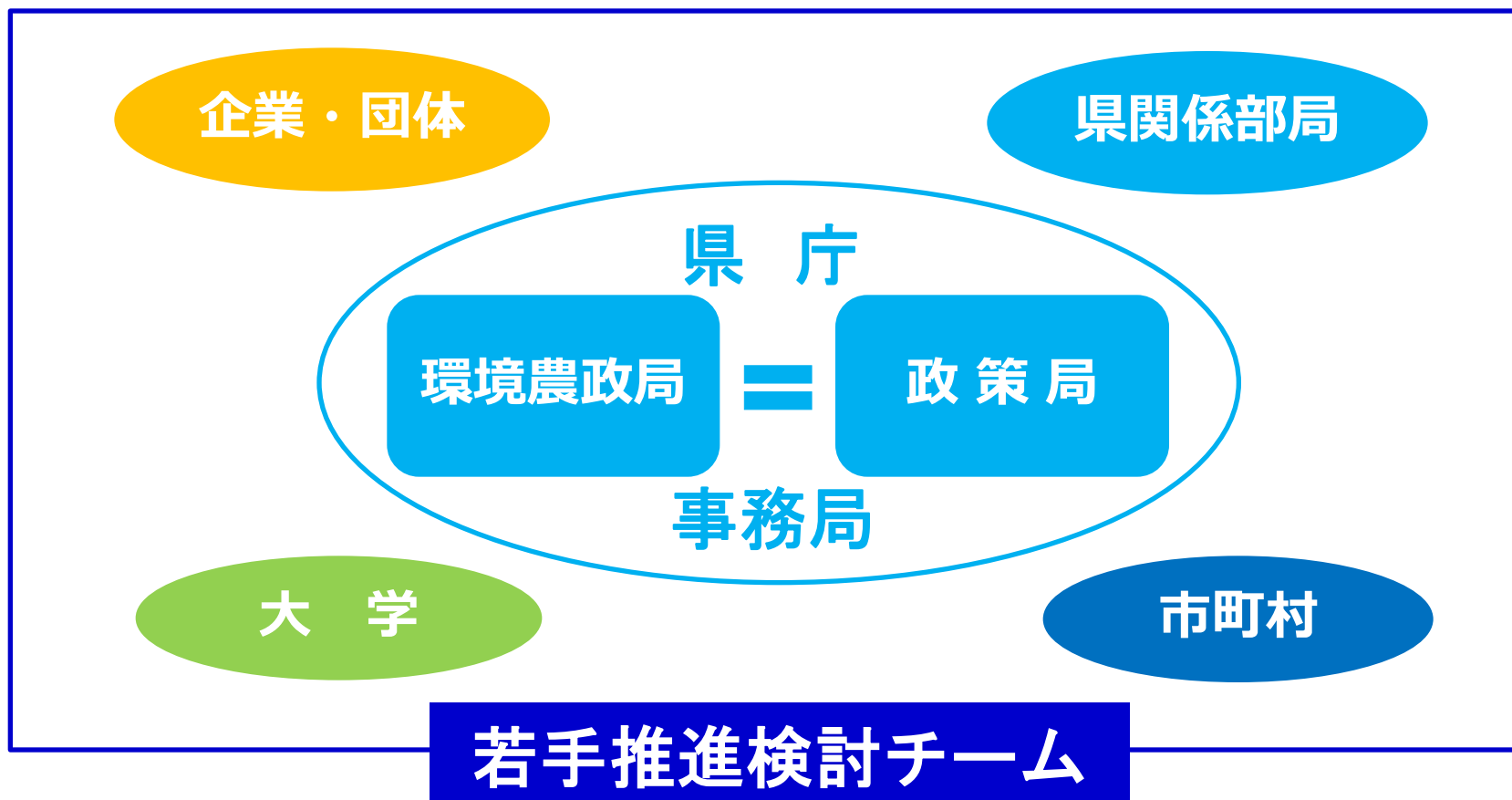
台風後の片瀬海岸（藤沢市）

かながわプラごみゼロ宣言

【今後の取組】

- ① 企業等と連携した、プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止や回収などの取組
- ② イベント等における、プラスチック製ストローの利用廃止や回収などの呼びかけ
- ③ 海岸利用者へのプラごみの持ち帰りを呼びかけ

推進検討体制の整備



広く意見を交換し、産官学の連携により、
新しいアイデアを提案！

①企業等との連携

1 レジ袋削減実行委員会

- ・ スーパー等に参加を呼びかけ、レジ袋削減を全県的な運動として展開
- ・ 平成21年度から取組を開始し、事業者75者、消費者団体55団体、32市町村が参加 (H30. 12現在)
- ・ レジ袋のポイント割引系の辞退率23%、有料化系の辞退率87%



レジ袋の有料化に向けて取組を推進



有料化系



ポイント割引系



①企業等との連携

2 「プラごみゼロ宣言」賛同企業等の募集

平成30年12月に次の要件を満たす**企業・団体・学校**を**募集**し、県との連携を推進

- ・ 「プラごみゼロ宣言」に賛同し、自らの具体的な取組を複数宣言し、実行すること
- ・ 「マイエコ10宣言 プラごみゼロ宣言バージョン」を宣言すること
- ・ 県内に本店、事業所等の活動拠点があること
- ・ プラごみゼロに向けた取組を企業・団体・学校のホームページ等で広く発信すること

①企業等との連携

2 「プラごみゼロ宣言」賛同企業等の募集

- 平成31年1月末現在、**94団体**（企業81、団体10、学校3）が賛同



賛同企業等登録証授与式

- 企業等で**くじらロゴマーク**を各種媒体で使用し、県のHPでも企業等の取組を紹介

①企業等との連携

(事例) 「かながわSDGs×けいきゅん」オリジナル
エコバッグの配布

- 「神奈川県と京浜急行電鉄(株)とのSDGs推進に係る連携と協力に関する協定」の一環で、
「かながわプラごみゼロ宣言」
に賛同いただき、2月9(土)
に京急沿線4駅で約5千枚の
エコバッグを配布し、レジ袋
削減、プラごみ削減を呼びか
けた。



神奈川県 SDGs 未来都市



コットンエコバッグ

①企業等との連携

3 市町村との連携

- 平成30年10月に鎌倉市が「かまくらプラごみゼロ宣言」を発表

(今後の取組)

- ・ プラスチック製ストローの利用廃止
- ・ 市役所内の自販機でのペットボトル飲料の販売を極力廃止

- 同年11月に県と鎌倉市でフォーラムを共催

- ・ 第1部 トークセッション
「プラごみゼロ宣言」からSDGsを考える
- ・ 第2部 講演会
プラスチックごみ問題の現状

①企業等との連携

○ その他市町村との連携

- ・ 県内全市町村に「かながわプラごみゼロ宣言」の賛同を依頼するとともに、今後の取組や連携方策を意見交換
- ・ 市町村、賛同企業等との定期的な意見交換会を予定

②イベント等における普及啓発

【取組状況】

- ・ 環境イベントにおける“NO”レジ袋キャンペーン（レジ袋削減、マイエコバック使用促進）
- ・ 3R取組事例の収集・公表



エコバッグ使用の呼びかけ



子供たちによるマイエコバッグの作成

②イベント等における普及啓発

「マイエコ10宣言 プラごみゼロ宣言バージョン」の登録呼びかけ

トライ! マイエコ10宣言 《プラごみゼロ宣言バージョン》

プラスチックによる海洋汚染を防ぐため、16の「プラごみゼロ宣言」に関するメニューの中からできそうなことを10個選んでみましょう！
そして、ぜひ実践しましょう！

①プラスチック製ストローの使用は控える 	②マイバッグを持参しレジ袋はもらわない 	③マイボトル、マイ箸を持ち歩く 	④お店でプラスチック製スプーン等をもらわない 
⑤スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らす 	⑥ごみの少なくなるものを選んで買う 	⑦食品の保存の時はふたつき容器を使う 	⑧買い物の時には、簡易包装を頼む 
⑨海岸などでのレジャーのあとは、ごみを持ち帰る 	⑩海岸などのごみ拾いに参加する 	⑪使っているものの識別マークを確認する 	⑫プラごみはルールに従って、分別して出す 
⑬自分がどのくらいプラごみを出しているか考えてみる 	⑭プラごみがどのようにリサイクルされるか調べてみる 	⑮家族や友人にプラごみを減らすよう呼びかける 	⑯プラごみによる海洋汚染について調べてみる 

②イベント等における普及啓発

チラシ・缶バッチの配布、ポスター・のぼり旗の掲示



チラシ



ポスター



缶バッチ



のぼり旗

②イベント等における普及啓発

今後、**くじらマイバッグ**を活用したレジ袋削減、プラごみ削減の普及啓発も予定



くじらマイバッグ

③海岸利用者へごみの持ち帰りを呼びかけ

- 海水浴やバーベキュー利用者への「ごみ持ち帰り」の呼びかけ H30実績 延べ65箇所
- かながわ美化財団と連携・協力し、駅中ポスターや海岸清掃イベントでの普及啓発



セーリングワールドカップ
江の島大会(9/15)
ビーチクリーンキャラバン隊



持ち帰り呼びかけ
ポスター

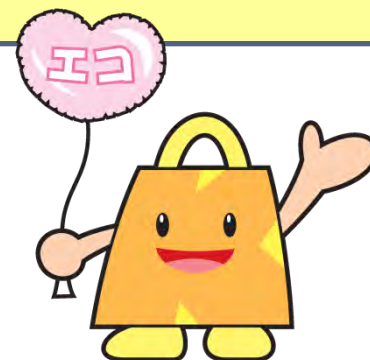


小田急・江ノ電
クリーンキャンペーン (9/22)

県庁内自らの取組

「かながわプラごみゼロ宣言」のもと、県庁全体で次の取組を率先して実践

- 買物時におけるマイエコバッグ持参の徹底
- 県庁内の弁当販売時におけるレジ袋の配布廃止
- 「県環境にやさしいイベント基本方針」を改正し、県主催のイベントで使い捨てプラスチック製品の使用をできる限り控える



マイクロプラスチックに関する調査

- **全国の自治体に先駆け県環境科学センターで調査を開始**（平成29年度から）
- 地域の海岸に漂着するマイクロプラスチックの状況を把握



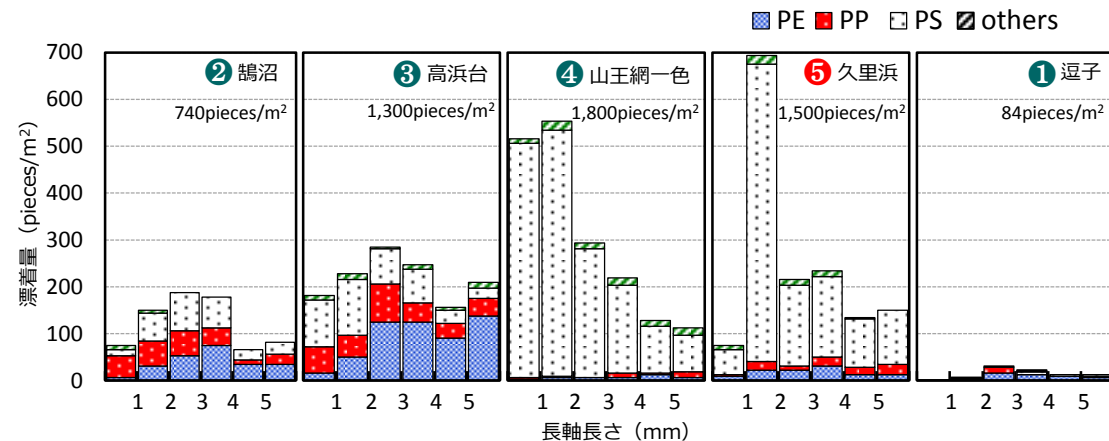
- 相模湾沿岸の海岸で、砂の中のプラスチックのサイズ、材質などを分析



マイクロプラスチックに関する調査

H29年度の調査結果

- 海岸によって特色
- 外洋から漂着するものより、**内陸から河川を通じて流込むもの**のほうが多いと推定



マイクロプラスチックに関する調査

【今後の調査予定】

- 河川における調査、マイクロプラスチック表面に吸着した化学物質についても調査
- 県内河川や水路からのプラスチックごみ流入負荷の実態調査

県民一人ひとりが、川や道路等に**ポイ捨て**された**プラごみ**が**海洋汚染**につながることを認識し、**行動変容**につなげることが重要

ご清聴ありがとうございました。